

# 都立 砧公園

きぬた

# 冬の五感まっぷ



⑤ サザンカ



④ サザンカ



③ コブシの冬芽



② サンシュユの冬芽



① ヤブランの実



⑥ ハナミズキの冬芽



⑦ ハボタン



① ヤブランの熟した実



⑨ ソシンロウバイ



⑩ 早咲きの白梅



⑪ ハクモクレンの冬芽



⑫ シナマンサク



⑬ ウメ(紅)



⑭ ウメ(白)



② サンシュユつぼみ



※開花時期は、その年の気象状況などにより左右されますのでご了承ください。

公益財団法人 東京都公園協会  
 砧公園サービスセンター  
 〒157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-1  
 TEL03-3700-0414

- 東急田園都市線「用賀」から徒歩 20 分または東急コーチバス（美術館行き）「美術館」下車
- 小田急線「千歳船橋」から東急バス（田園調布行き）「砧公園緑地入口」下車
- 小田急線「成城学園前」から東急バス（都立大学北口行き）「区立総合運動場」下車

## 砧公園の砧（きぬた）ってなんだろう？

砧は右の写真のような古代から伝承された民具ですが、時代と共に使用されなくなり漢字自体見ることなくなってきました。そのため「何公園」と呼ぶのですかとよく質問を受けます。砧は衣板（きぬいた）から転訛したものらしく、木槌で衣を打つのに用いた石（又は木）の台で、今でいうアイロン台のようなものだったようです。※写真は木の台です。きっと昔農村地帯だったこのあたりでは、夜なべ仕事として砧を打つ音が「トントントン」と響いていたのではないのでしょうか。



- トイレット
- 車イス対応トイレ
- 電話ボックス
- 水飲み場
- 駐輪場
- 売店
- あずまや





A

ソテツのわらぼっち

冬の風物詩のわらぼっちです。暖地原産のソテツは冬の寒さに弱いため、ワラを巻いて霜除けをしてあげます。わらぼっちは頭に付ける飾りで、霜除けや雪が積もりにくいという実用も兼ねたものです。冬枯れの公園も、一たび雪が降ると全く違った景色に変わります。

見る



B



サービスセンター



C

ソシンロウバイ

嗅く

花卉が半透明の蠟（ろう）のような色で、かつ蠟月（ろうげつ、旧暦12月）に咲くのでロウバイという名がついたようです。ロウバイは中心部まで花卉が暗紫色ですが、ソシンロウバイは内部の花被片まで淡黄色で、ロウバイより花がやや大きいです。可憐な花からフルーティーな甘い香りを漂わせます。

# 砧公園の冬を五感で感じましょう!!



A

触る

霜が降り、霜柱ができると踏んでサクサクとした感触を楽しんだり、触って氷の冷たさを実感できます。また雪が降ると、子供も大人も雪のふわふわとした感触を確かめるように触り、そのうち雪合戦など雪遊びを楽しみます。

ツイー、キョキョキョ



シロハラ



マヒワ

B

ビューン、チュウーン

キ ヽヽヽヽ

カワラヒワ



オンドリ



ケー、クアツ

聞く

冬枯れとなって野鳥を見つけやすくなります。一年中見られる「留鳥」の他、冬限定の渡り鳥である「冬鳥」の姿をじっくり観察しながら、さえずりをお楽しみください。



B

味わ



黄色く紅葉したイチョウの木の下には、腐ったような臭いを発散して大量の実が落ちています。その臭い果肉を取り除いたギンナンは、煎って殻を割ると食べることができます。茶碗蒸しの具として使われたり、酒の肴としても珍重されています。

※注意  
公園内の植物を折ったり採ったりできません。